

私は信州つばきプロジェクトアメリカSTEAMコースに参加し、アメリカへ行ってきました。このプロジェクトに参加した理由は、英語が出来るかできないかではなく、英語を学ぶことが好きで将来も英語を使うような仕事を志望しており、一度でいいから本場の英語を聞いて英語を学びたいと思ったからです。初めての海外だったので不安の気持ちがとても大きく、応募するかを締め切りギリギリまで悩みに悩んでいたのですが、両親が背中を押してくれたことをきっかけに思い切って応募しました。実際参加してアメリカに行くと、はじめは話したくても、緊張や不安でホストファミリーの方とコミュニケーションを取ることを躊躇っていたのですが、まずは自分なりに言いたいことを伝えてみようと思い、思い切って話してみたところ、相手も私が何を伝えたいかを聞き取って理解してくれようとしてくれたことで、以降は躊躇うことが少なくなりました。このことから私は、何事にも失敗を恐れず、「やらずに後悔するより、当たって砕けたほうがいい」と、まずは思い切って挑戦してみる事が大切だということを感じました。

また、現地の方々に乗る電車がわからないときに尋ねると丁寧に教えてくださったり、ホテルの朝食などで隣の席になると「どこから来たの？」などと会話をしてくださる方やおすすめの観光場所などを教えてくださるような方もいて、初対面でありながら優しく接してくれたことに心が温かくなりました。この研修を通して、コミュニケーションを取ることが研修前よりも楽しく感じるとともに、自分からコミュニケーションを取ろうとすることの大切さも学ぶことができました。

主な研修先としては、国連本部やハーバード大学、美術館などです。国連本部では、国際問題やSDGsに対する国際的視野からみた考え方や、生活するために私よりも年下の子供が学校に行けていないなどの現状を知り、普段の自分の生活の仕方について深く考えさせられました。ハーバード大学ではキャンパスツアーの際、創始者の像に隠された三つの嘘や、記念図書館の創立秘話など、興味深いお話を現役ハーバード生の方にさせていただきました。またハーバードメディカルスクールでは、インターン生の方々に実際に行われている研究を紹介していただき、その後で交流もすることができました。2つの美術館を訪問しましたが、建物の内部の構造や展示のされ方が違ったりと、それぞれに違う良さや特徴があってとても楽しかったです。また教科書やネット上でしか見たことのない美術作品を見ることもでき、その作品ができた時代背景や物語に触れることでより楽しく見学をすることができました。

このSTEAMコースの研修内容は専門的なものもあり、理解するのに苦労したこともありますが、それ以上にたくさんの貴重な経験をすることができました。世界的視野を知ったことで自分の将来像がより明確になったと思います。このような経験をさせてくださった長野県教育委員会の方々、先生方、そして家族、このプロジェクトに関わってくださったすべての方には感謝の気持ちがありません。本当にありがとうございました。今の高校生である私達にしかできないこのプロジェクトの良さを多くの人に知ってもらいたいと思うとともに、ここで学んだことを忘れず、これからの自分の進路選択などにしっかり活かしていきたいと思います。

